

平成28年度 政務活動費 先進都市調査報告書

会派名	公明党室蘭市議会
議員名	砂田 尚子、柏木 隆寿、細川 昭広
調査実施年月日	平成30年4月13日(金)
調査先 自治体名等	福岡県福岡市
調査項目	「福岡市科学館について」
調査目的	本市も現在の青少年科学館を老朽化のため図書館と合築により建て替えるべく計画を進めているが直近でオープンした福岡市科学館を調査しプラネタリウムを含めた科学館機能について本市の施設建設に活かす。
報告内容 実施したこと	<p>1 視察先(市町村)の概要 人口:1,523,676人 (H29.10.1現在) 行政面積:343.39km²</p> <p>2 視察内容</p> <p>福岡市科学館は昨年10月に旧少年科学文化会館の老朽化等に伴いJR九州が建設した複合ビルに賃借入居方式により開設した。賃借入居により財政負担の軽減と食料品スーパーなど他入居施設との相乗効果も図られ、市内はもとより県内・県外、中国・台湾・韓国、東南アジア諸国など海外からの見学者も多いとのこと。運営については指定管理者制度とし展示内容の更新費も含めての委託契約とのこと。15年間で50展示を24回更新することなどが明示されているとのこと。また、本市と同様に地元産業の紹介展示スペースや子ども達が科学に親しむ各種実験プログラムもテーブルサイエンス(10回以上/日)、サイエンスショー(2回以上/平日、6回以上/学校休日)、ワークショップやクラブ活動も行われている。ドームシアター(プラネタリウム)についても最新技術を駆使した内容となっており、全体を通して何度でも行ってみたいくなる施設になっていると感じた。また、修学旅行等の団体受け入れ状況は開館からの4カ月で約200団体となっており、来館者の年間目標である50万人に対し、すでに2月中で50万人を達成している。</p>
感想(まとめ) 本市へ活かせること等	ドームシアター(プラネタリウム)については上映時間と行程の関係で、前日(12日)に鑑賞しましたが、リクライニング椅子がゆったりして子どもから大人まで楽しめるプログラムもあり人気が高いとのこと。団体受け入れも現在は、市内の小学4年生が「一日学習」として同館に来ており、子どもたちが科学に触れることで興味を持ち、未来への可能性を感じ、大きな夢や希望を持つてる施設となっている。ちなみに元宇宙飛行士の若田光一さんが名誉館長となっており宇宙服なども展示されている。夜間には大人の来館も多く、土日は7000~8000人が訪れているとのこと。立地についても街なかの元九州大学キャンパス跡地で地下鉄駅も隣接しており、交通の便も良いことが来場者増に寄与していると感じた。本市は図書館との合築であり施設規模も小さいことから、いかに展示スペースの動線を考えていくのかが来場者増へのカギを握る。また、検討中の公共交通網形成計画における交通の利便性確保も重要と考える。あと市内の学校だけでなく修学旅行生等の市外・道外からの継続的な来場も考えると福岡市のように定期的な展示物の更新についても、どのような形で行うのかも真剣に考える必要があると感じた。



平成30年4月13日(水)

福岡県福岡市

福岡市科学館



平成30年4月13日(水)

福岡県福岡市

福岡市科学館



平成30年4月13日(水)

福岡県福岡市

福岡市科学館

